

令和8年度は
根獅子小学校
との統合
初年度

平戸市立紐差小学校 学校だより No.12



楽しい学校



令和8年6月23日 文責 校長 川口 洋一

【本校の教育目標】

**高き理想を胸に秘め たゆまず倦まず励みなん
～夢をもち、未来に向かってたくましく生きる子どもを育てる～**

【本年度の合言葉】

笑顔あふれる楽しくて、いきがいのある学校をつくろう！！

第21回 平戸市「少年の主張」大会の開催!!

6月21日(日)に、第21回平戸市「少年の主張」大会が平戸文化センター大ホールで開催されました。紐差小からは代表として6年のR・Mさんが出場し、「私の大好きな町」と題して発表を行いました。Rさんの主張内容は、大好きなふるさとである平戸市の魅力と課題についてでした。本番の発表へ向けて、毎日、学校でも家庭でも一生懸命に発表練習を続けました。当日は、発表順が1番でとても緊張する中、これまでの練習を通して最高の発表を立派に行うことができました。発表を聞きながら、Rさんの目に見えないところでの努力やがんばりが伝わってきて、とても感動しました。Rさんの当日のがんばりはもちろん、それまでの過程での努力に心から拍手を送りました。

※発表時の写真を掲載していません。

以下に、Rさんの発表内容を掲載します。

私は、平戸が大好きです。たくさんの魅力に包まれているからです。
平戸の一番の魅力は何といっても、海や山などの自然が豊かであることです。平戸には、きれいな海や緑豊かな山があり、季節ごとに違った景色を見ることができます。
私は、夏休みの夜に、はっきりとした天の川を見ました。空いっぱい星が広がっていて、まるで宝石のように、とてもきれいでした。私は、その時、「都会では、こんな景色は見られないだろうな」と思いました。静かな夜の中で星を見ていると、とても心が落ち着き、平戸には自然の美しさが残っているのだと改めて感じました。
また、平戸は海に囲まれているため、新鮮な魚を食べることができます。私は、平戸市内の飲食店で食べる海鮮丼が大好きです。新鮮な魚がたくさんあって、とてもおいしいです。こんなおいしい魚が平戸でとれたのだと思うと、うれしくなります。観光に来た人にも、平戸のおいしい魚を味わってほしいと思います。平戸のおいしい魚も、平戸の魅力だと思います。
平戸の魅力二つ目は、人が温かいことです。私は、小さい頃、森の中で迷子になったことがあります。森を出た先には、車が走っていましたが、私はどうしたらよいかわからず、とても不安でした。その時、知らないおばあさんが優しく声をかけてくれました。そのおばあさんは、私の祖父の家を知っており、家まで送ってくれました。私は、その時、とても安心したことを覚えています。知らない子どもにも優しく接してくれる人がいることに驚きました。そして、平戸には地域の人同士が支え合う温かさがあるのだと感じました。今でも地域の方々は、会った時に「おはよう！Rちゃん！がんばってね！」と優しく声をかけてくれます。その言葉を聞くと、私は元気が出て「今日も頑張ろう！」と思えます。
また、地域の知り合いの方がズッキーニやブロッコリーなどの野菜をくださることもあります。私は、そのような人の温かさも、平戸の大きな魅力だと思います。
しかし、平戸には課題もあります。人口が減り、子どもの数も少なくなっています。空き家が増えている地域もあります。このままでは、平戸のよさが少しずつ失われてしまうかもしれません。
私は、このような課題があるからこそ、平戸の魅力をもっと多くの人に伝えていくことが大切だと思います。そのために、私は地域の行事に積極的に参加したり、観光に来られた方へ笑顔であいさつをしたりしたいです。また、平戸の歴史や文化についてもっと学び、自分の言葉で伝えられるようになりたいと思います。
小さなことでも、自分にできることを続けることで、平戸の未来につながると 생각합니다。まずは、自分自身が平戸のことをもっと好きになり、誇りをもって生活していきたいです。そして、未来の子どもたちにも、「平戸が好きだ！」と思ってもらえる町にしていきたいです。